

特別展示「驚異と怪異—想像界の生きものたち」

国立アイヌ民族博物館

国立アイヌ民族博物館の第9回特別展示「驚異と怪異—想像界の生きものたち」が9月14日から開かれています。人魚や龍、かっぱなどの想像界の生き物の多様性について、絵画や書籍、祭具などを通して紹介されています。

300点を超える展示では、美々4遺跡から発掘された動物型土製品（愛称・ビビちゃん）などもあります。

11月17日まで。11月3日11時（30分）・14時（同）、11月17日14時（同）には学芸員のギャラリートークも予定されています。

ウポポイ入場料1,200円（大人）、600円（高校生）のほか、特別展観覧料大人300円、高校生200円。中学生以下無料です。



チャレスポ 軽スポーツ祭り

「チャレスポ！SHIRAOI軽スポーツ祭り」が9月1日、総合体育館などで行われ、町民がペタンクなどの軽スポーツに親しみました。

町が主催した町制施行70周年記念、縁日形式のスポーツ体験イベントです。ボッチャやゲーリング、目隠しチャンバラ、パン食い競走など8種目が行われ、会場を訪れた約200人から歓声が上がっていました。



ふるさと給食の日

ふるさと給食の日の9月4日、町内の6小中学校で白老牛のすき焼き煮が振る舞われ、子どもたちが郷土の味を堪能しました。地元の阿部牛肉加工株式会社から50kgの牛肉の提供を受けて750食が用意されました。

このうち、白翔中学校の1年生25人もふるさとの味に舌鼓を打ました。同社直営牧場の白老ブリーディング牧場の曾我司代表は「ふるさとの味を多くの人に伝えてほしい」と話していました。

